

## 口腔ケア導入偏 -マンパワー不足への対処-

日中は食事介助の掛け持ち、配薬、経管栄養管理、吸引、排泄ラッシュなど、朝夕はマンパワー不足で嚥下障害の患者さんへのケアに時間を費やせない場合の対策  
 《嚥下障害者；脳血管障害の既往・認知症・パキンソン病・神経難病の患者さん》



### 《準備》

粘膜ブラシ・歯ブラシ・スポンジブラシ  
 リフレケアH・ガーゼ or テッシュ  
 水を入れたコップ



- 粘膜ブラシ @470円 (オーラルケア)
- ・ お口を開けてくれない方や拒否のある方
- ・ 歯と粘膜の汚染を短時間で清掃・回収する場合

- リフレケアH @2000円 (ビーズターク・スー)
- ・ ジェル状歯磨き剤で保湿ジェルとしても使用可能
- ・ 1ケア用品で歯磨きと保湿を同時に実施する場合

介助者による口腔ケアで大切なことは、痛がらせないことです。そのため、まず口を水や保湿ジェルなどで潤し、乾燥を改善してからケアを行います。そして、1日に1回は充実ケアを行い、それ以外は維持ケアを取り入れて効率化します。

口腔清掃後には必ず保湿をして、口内が常に潤った状態を維持しましょう。

### 一手順

歯学博士 大石善也

#### 《充実ケア：5分》

- ① 加湿：粘膜ブラシ or スポンジブラシを水で濡らして、口内の汚染物をおおまかに回収
- ② 清掃（汚染物の回収）：リフレケアHを歯ブラシに適量付けて丁寧な口腔清掃
  - ・ 洗口効果：清掃の途中に2-3回、歯ブラシを水でよく濯ぎ（この濯ぎがブクブクうがいの役割を担う）、よく水を切ってから、何もつけずに再度磨きます。
  - ・ 汚染物の回収：途中で水の濯ぎを入れて、歯の表面の汚れを洗い流しながら、口内の水分や歯と粘膜の汚染物をスポンジブラシやガーゼで回収します。
- ③ 保湿：最後に、スポンジブラシにリフレケアHを付けて、口内に薄く塗布

#### 洗口効果



#### 《維持ケア：1-2分》

- ① 加湿と清掃：粘膜ブラシ or スポンジブラシを水で軽く濡らして、リフレケアHを適量とり、加湿・清掃と汚染物回収を同時に行う
- ② 保湿：粘膜ブラシ or スポンジブラシにリフレケアHを付けて、口内を保湿